

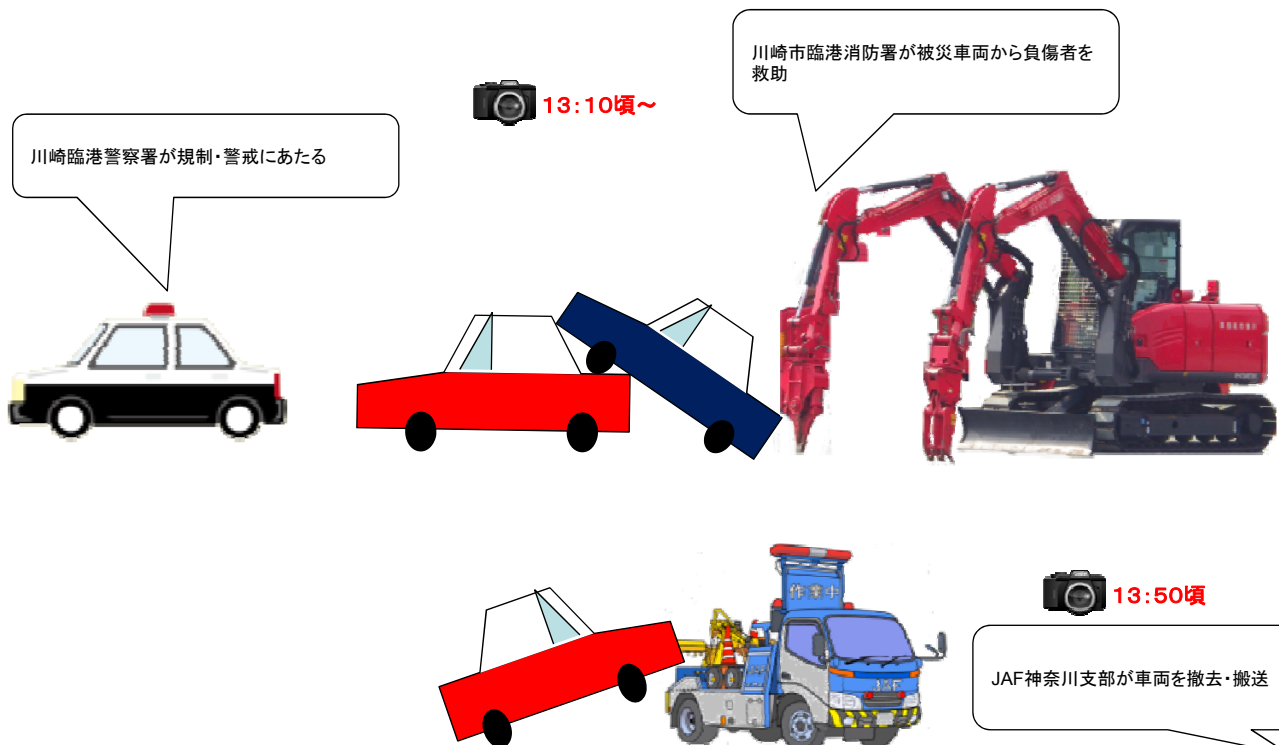
訓練番号① 活動要員及び作業員参集訓練


- ①【13:05 4.5m岸壁に到着】国土交通省(関東地方整備局、関東運輸局)、川崎市港湾局の活動要員、防災エキスパートが京浜港湾事務所の船舶「たかしまⅡ」により参集
横浜港新港地区ミニフロート → 東扇島防災拠点
- ②【13:10 着陸】国土交通省、川崎市港湾局の活動要員がヘリコプターにより参集
横浜港みなとみらいヘリポート → 東扇島防災拠点
- ③【13:10 31号岸壁に到着】日本埋立浚渫協会の作業員が交通船で参集
横浜港南本牧ふ頭 → 東扇島防災拠点

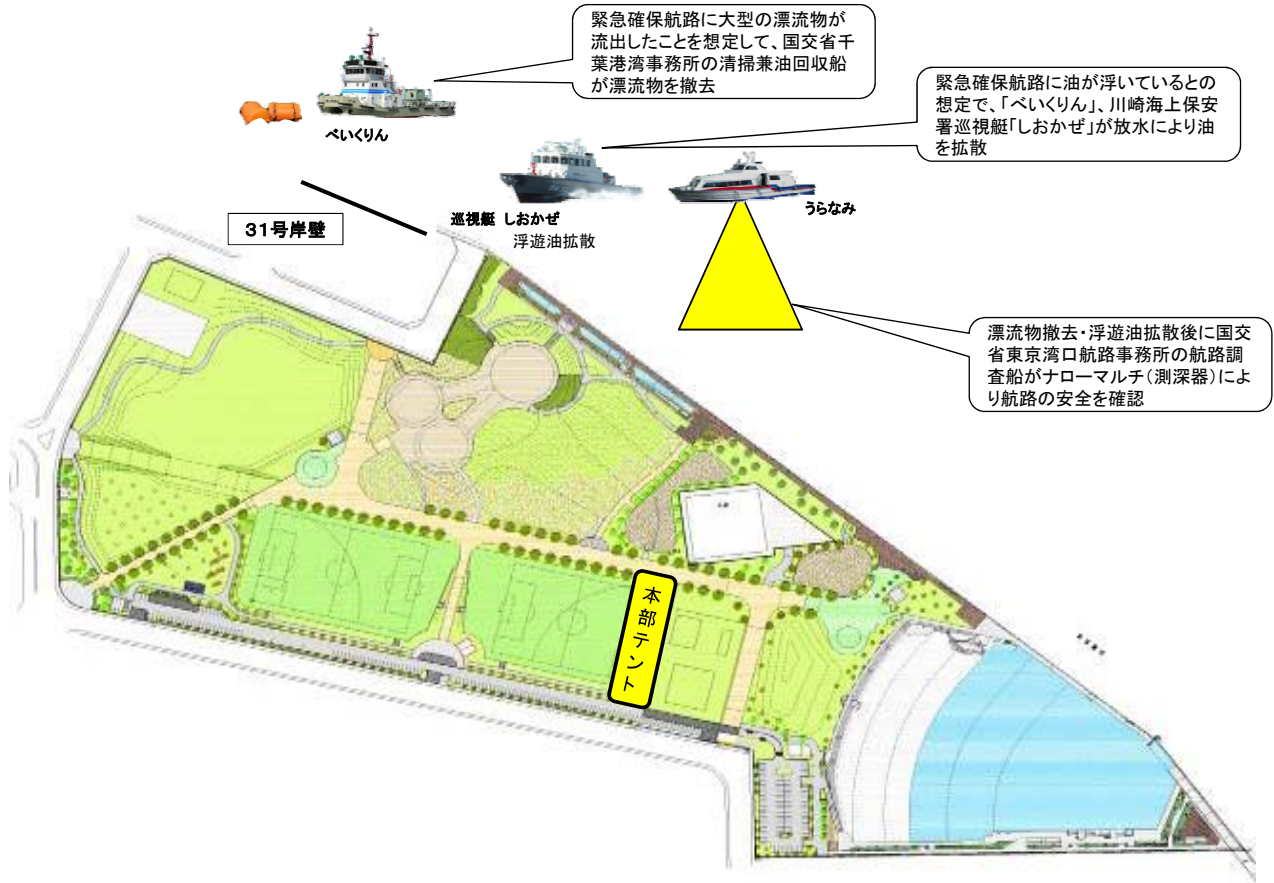


訓練番号②人命救助訓練、④緊急輸送路確保訓練

- 1) 緊急輸送路上(臨港道路)の被災車両から川崎市臨港消防署が負傷者を救助(川崎臨港警察署が周辺の規制・警戒にあたる)
- 2) 救助した負傷者を神奈川県警航空隊及び川崎市消防局航空隊のヘリコプターが江東区有明の防災拠点まで救急搬送
- 3) 緊急物資輸送の障害となる車両を協定に基づきJAF神奈川支部が撤去、仮置き場所まで搬送

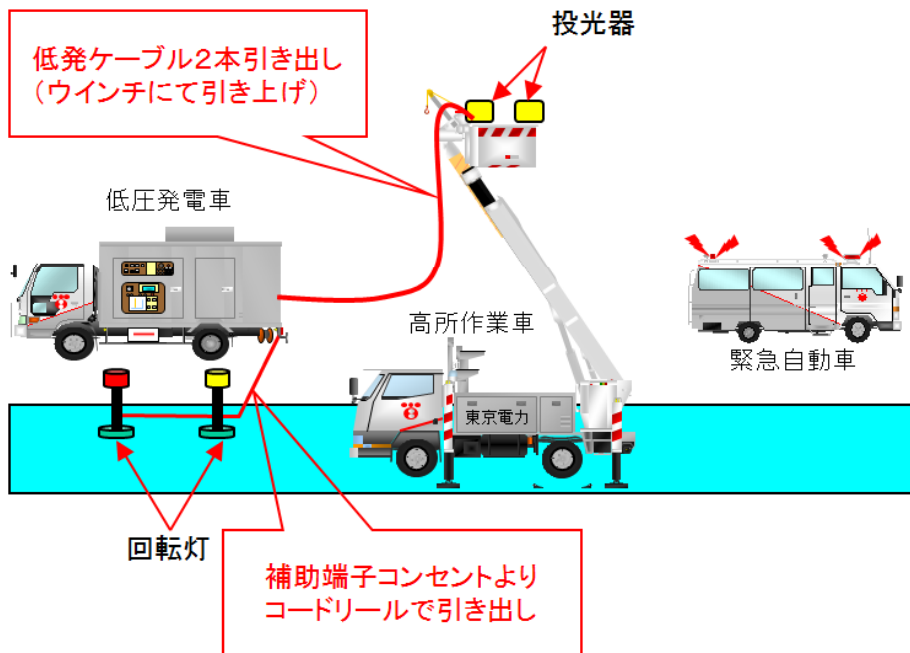


訓練番号③ 緊急確保航路啓開訓練  13:40頃～



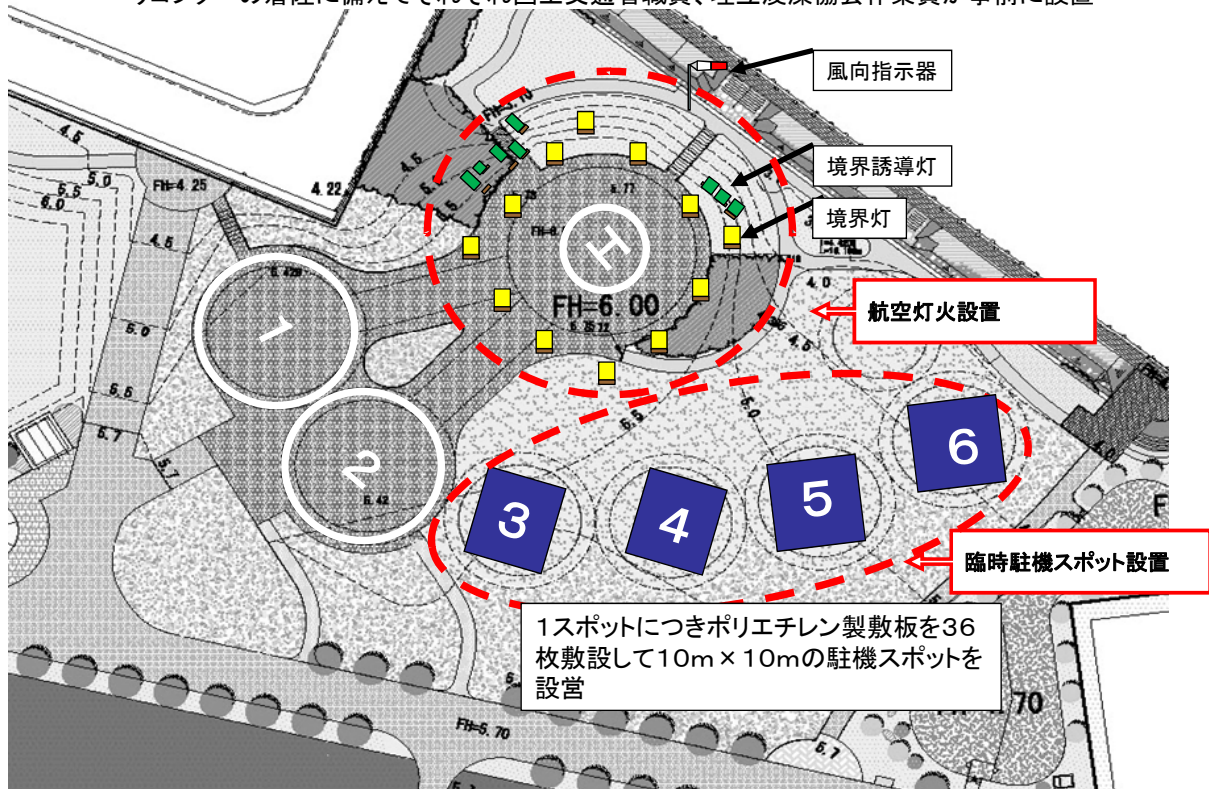
訓練番号⑤ ライフライン応急復旧訓練 ※今回初

東京電力川崎支社(初参加)が停電中の施設に対して低圧発電車による応急送電訓練を実施する



訓練番号⑥ ヘリコプター臨時駐機スポット及び航空灯火設置訓練(事前)

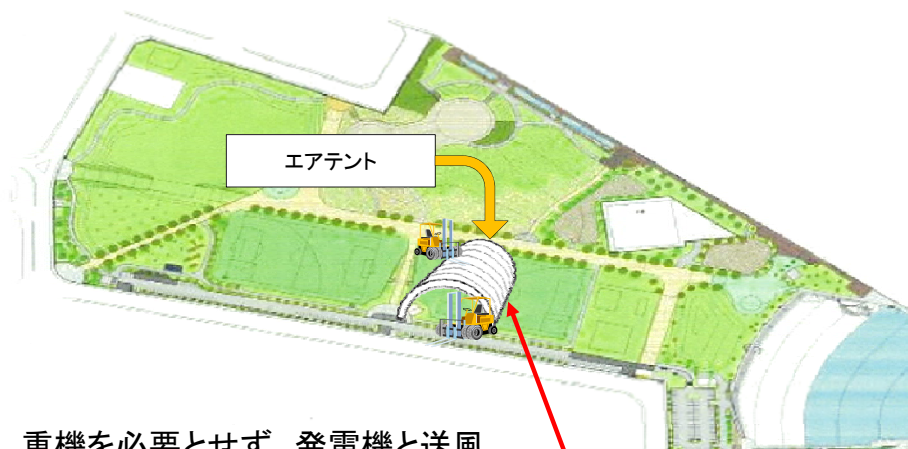
芝生エリアを臨時ヘリポートとして使用するため、航空灯火及び臨時駐機スポットを設置する訓練。
ヘリコプターの着陸に備えてそれぞれ国土交通省職員、埋立浚渫協会作業員が事前に設置



訓練番号⑦ エアテント（緊急物資仕分け用）設営訓練

緊急物資を仕分けするエアテントを設営する訓練。
設営されたテント内においては協定に基づき川崎港運協会が物資の荷捌きを実施

エアテント設営
備蓄してあるエアテント
を3基連結する



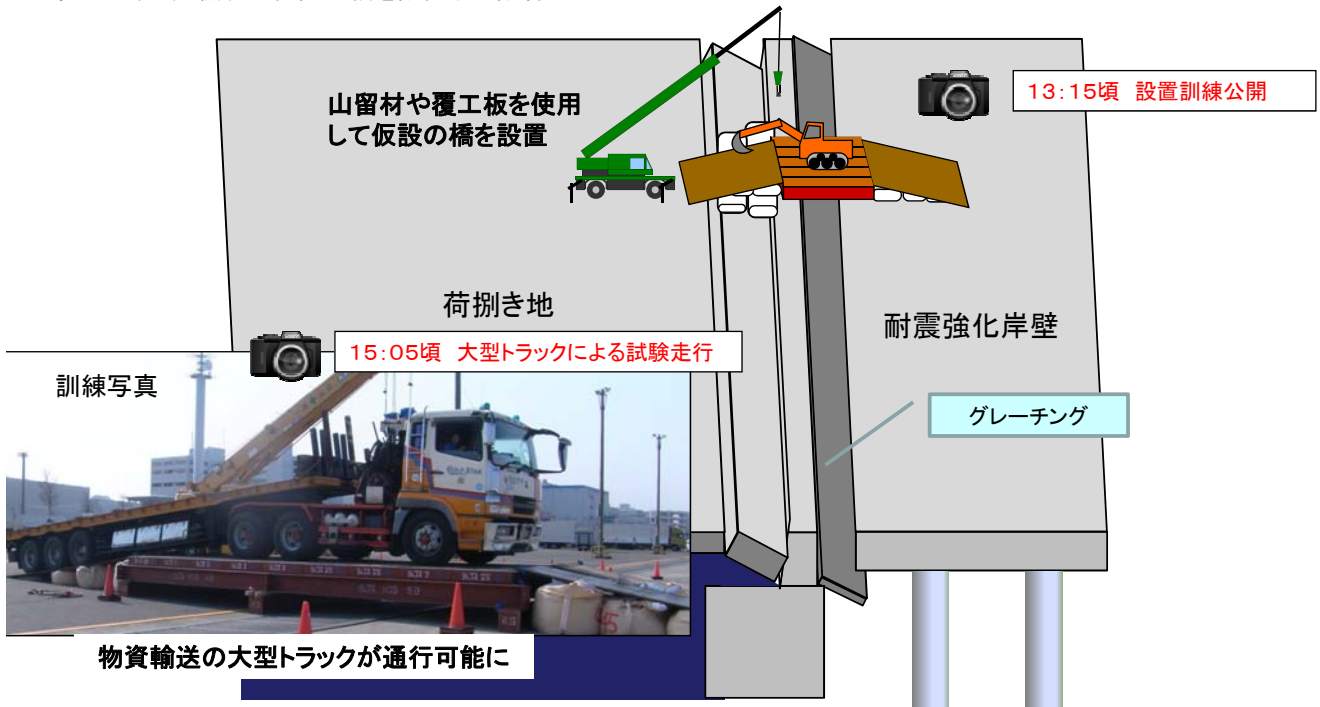
重機を必要とせず、発電機と送風機を使用して設営が可能

1基の大きさ：
縦20m×横10m 高さ6m

訓練番号⑧ 防災拠点応急復旧訓練
仮設橋梁の設置

2-1

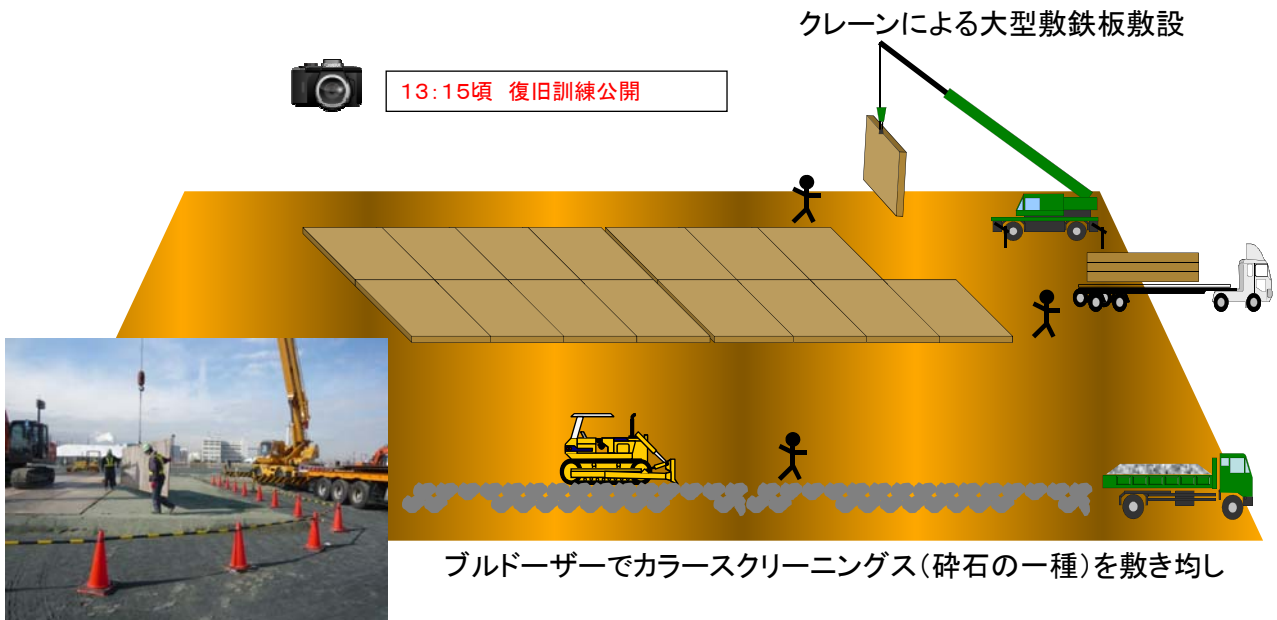
地震によって耐震強化岸壁の背後のグレーチングが落下したり、背後が陥没したことを想定して、防災拠点に備蓄してある資機材で仮設の橋を設置する訓練



訓練番号⑧ 防災拠点応急復旧訓練
液状化地盤の応急復旧

2-2

地震により防災拠点内荷捌き地(グラウンド)の地盤が液状化して不陸が発生、荷捌き等が不可能となったため、防災拠点に備蓄してある敷鉄板を敷設して応急復旧する



液状化した地盤を整地後、敷鉄板を敷設

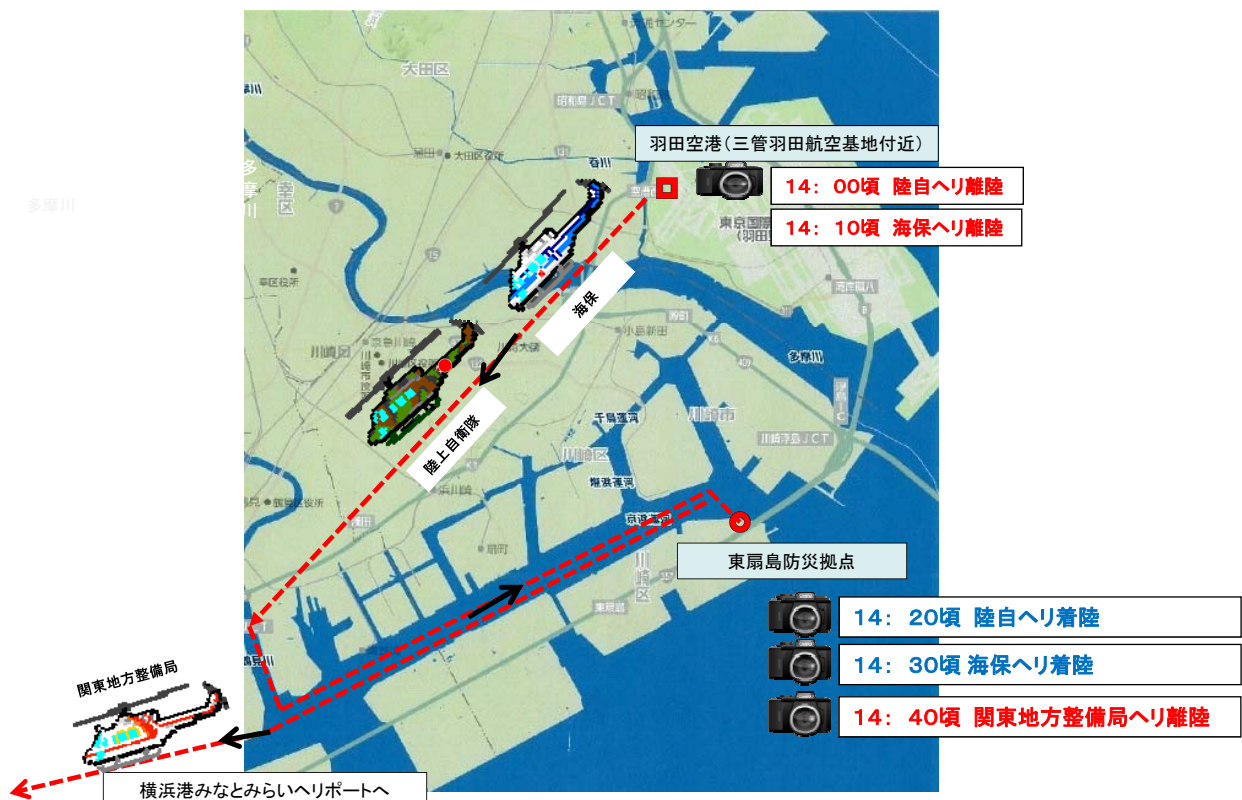
訓練番号⑨ 緊急物資海上輸送訓練

- ・【今回初】【14:10頃 31号岸壁から出航】貨物船により東扇島防災拠点(31号岸壁)から東京港中央防波堤内側地区-9m岸壁へ緊急物資を輸送
- ・【13:30頃 小松川リバーステーションに到着、衛星中継】東扇島防災拠点の舟運岸壁から小型船舶+台船により小松川リバーステーション(荒川)へ緊急物資を輸送。現地で陸揚げされた物資は陸上自衛隊、東京都トラック協会のトラックによって自治体の物資拠点へ搬送
- ・【今回初】羽田空港の管理用棧橋から国交省東京港湾事務所の港湾業務艇「江戸」により江東区の有明客船ターミナルへ緊急物資を輸送



訓練番号⑩ 緊急物資航空輸送訓練

- ・【今回初】羽田空港から海上保安庁第三管区海上保安本部及び陸上自衛隊のヘリコプターが緊急物資を輸送
- ・東扇島防災拠点から関東地方整備局のヘリコプターが横浜港みなとみらいヘリポートへ緊急物資を輸送



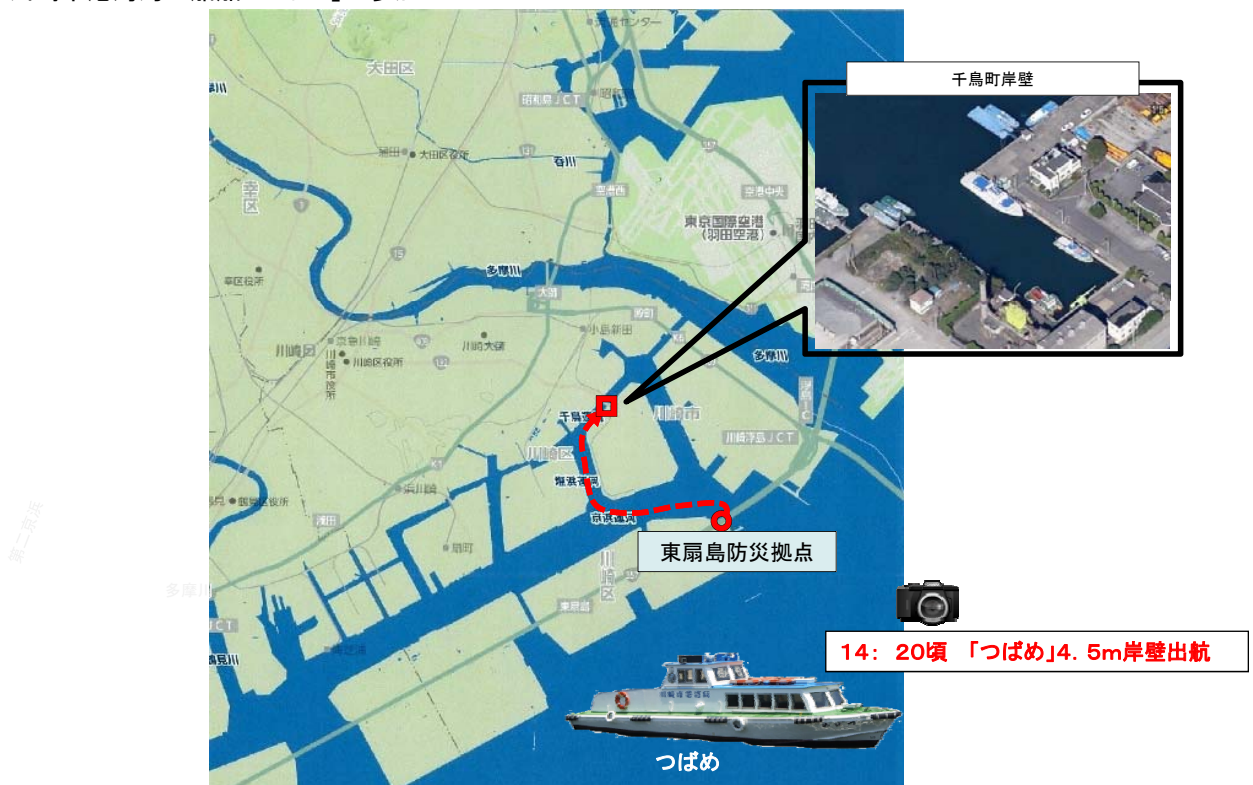
訓練番号⑪ 緊急物資一時保管訓練

・協定に基づき、緊急物資を防災拠点のテントから搬出し、東扇島内の神奈川倉庫協会加盟倉庫4社にて一時保管・荷捌き



訓練番号⑫ 津波避難訓練

津波警報発令により、公園来園者を川崎臨港警察署が津波避難ビルである首都圏臨海防災センターへ避難誘導、警報解除後に東扇島から千鳥町岸壁まで船によって輸送する訓練。
川崎市港湾局の船舶「つばめ」が参加



訓練番号⑬ 防災関係車両展示

神奈川県警、川崎市消防局、JAF、国土交通省の防災車両などを展示します

展示予定車両

神奈川県警



震災対応用活動車

J A F



レッカー車

国土交通省



災害対策本部車

川崎市消防局



アスタコなど



積載車 ※JAF HPより



災害対策連絡車